

令和6年度事業報告書(案)

松戸市立博物館

I 概要

令和6年度に開催した資料展・企画展は館蔵資料展「たてたてあなあな―竪穴建物の世界」、館蔵資料展「古文書からさぐる大谷口の村」、企画展「異形土器 縄文時代の不思議なうつわ」、博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」の4件である。企画展では記念シンポジウムを併催し、縄文時代の地域間交渉に関する研究成果を紹介した。また、近年導入した3次元計測技術や3D プリンタを活用した展示・ワークショップ等を試みた。

常設展示リニューアルについては、各分野の有識者を招聘したリニューアル懇談会における議論を経て、リニューアル実施計画を策定した。

そのほか学習支援事業として例年同様の各種講座・講演会を開催した。また、新たな取り組みとしてプレイルームでは月に一度季節にちなんだイベントを開催した。

Ⅱ 事業の概要

1 資料・企画展示

(1) 館蔵資料展「たてたてあなあな－竪穴建物の世界」

◆展示意図

竪穴建物(住居)は、地面を掘り下げて床を作った建物である。この竪穴建物は世界各地で用いられたが、日本列島では、おもに 10000 年前(縄文時代)から 1000 年前(平安時代)の間で使われ、日本家屋の源流の一つになった。松戸市内でも、1000 を越える縄文時代から平安時代の竪穴建物が発掘調査によって検出されている。

今回の展示では、市内でみつかった竪穴建物を中心に、出土した資料や写真から古代竪穴建物の世界を解説した。これによって、竪穴建物の構造や暮らしを楽しみながら学ぶ機会を提供した。

なお、展示の特色として次の点に留意した。まず、考古資料だけでは建物の地下部分しか分からないことが多いため、考古資料の展示だけに留まらず、世界各地で記録された近代の竪穴建物の写真や絵画パネルなどを用意し、竪穴建物の構造が理解できるようにした。また、ブロックや紙などで竪穴建物を作るコーナーを用意し、お子さんも楽しく学べる空間も併設した。



◆主 催 松戸市立博物館(企画担当 藤原哲)

◆後 援 千葉テレビ放送株式会社

◆協 力 新京成電鉄株式会社、流鉄株式会社

◆会 期 4月27日(土)～6月2日(日)36日間

◆観覧者数 4,615人

◆観 覧 料 無料

◆関連企画

1.学芸員講演会

演 題 「民族誌からみた竪穴建物」

講 師 藤原 哲(当館学芸員)

日 時 令和6年5月19日(日)

参加人数 47人

2.子ども用ワークシート

開催月日 展示期間中

参加人数 361人

(2) 館蔵資料展「古文書からさぐる大谷口の村」

◆展示意図

江戸時代、領主と農民の間に立って村の運営を担った村役人が「名主・組頭・百姓代」であった。市北部の大谷口村で名主を務めた大熊家の古文書は、年貢や諸役の取りまとめや命令の伝達や記録など、村役人の仕事ぶりを伝えている。なかでも幕末の10代目大熊伊兵衛は、領主の旗本土屋家家臣となり、財政改革や長州征討への供奉など、さまざまな仕事に従事した。

大熊家には、農業に根差した大谷口村の信仰を伝えた古文書も多く残っている。また、日々の祈りに加え、庚申講や参詣旅行の記録からは、一つの村を越えて広がる人々のネットワークを垣間見ることができる。本展示では、大熊井家文書を通じて、江戸時代をたくましく生きた村人たちの足跡を紹介した。



◆主 催 松戸市立博物館(企画担当 富澤達三)

◆後 援 千葉テレビ放送株式会社

◆協 力 新京成電鉄株式会社、流鉄株式会社

◆会 期 7月13日(土)～8月25日(日)37日間

◆観覧者数 3,659人

◆観 覧 料 無料

◆関連企画

1.学芸員講演会

演 題 「古文書からさぐる大谷口村—石造物をさらに考える—」

講 師 富澤 達三(当館学芸員)

日 時 令和6年7月21日(日)

参加人数 69人

2.展示解説会

概 要 担当学芸員による展示解説

開催月日 7月20日(土)、8月3日(土)、8月4日(日)、8月18日(日)、8月25日(日)

参加人数 152人

3.子ども用ワークシート

開催月日 展示期間中

参加人数 358人

(3) 企画展「異形土器 縄文時代の不思議なうつわ」

◆展示意図

東日本各地の異形土器を通じて、縄文時代後期の地域間交渉に関する近年の研究成果を紹介する。縄文時代後期には不可解な形態で、機能の不明な土器が多数出現し、異形土器と総称される。北海道から中部高地まで広い範囲に分布し、松戸でも出土例がある。展示では異形土器を手がかりにして地域間交渉の実態を探り併催する記念シンポジウムも含めて最新の研究成果を広く公開する。また、本展覧会を常設展示リニューアルに向けたデジタル技術活用の試験的実装の機会と位置付け、近年導入した3次元計測技術や3Dプリンタを活用した展示・ワークショップ等を試行する。

◆主 催 松戸市立博物館(企画担当 西村広経)

◆後 援 千葉テレビ放送株式会社

◆協 力 新京成電鉄株式会社、流鉄株式会社

◆会 期 9月14日(土)～11月4日(月・休)45日間

◆観覧者数 5,866人

◆観 覧 料 有料



◆関連企画

1. 学芸員講演会

演 題 「縄文時代後期の異形土器」

講 師 西村 広経(当館学芸員)

日 時 令和6年10月26日(土)

参加人数 68人

2. 展示解説会

概 要 担当学芸員による展示解説

開催月日 9/14・9/29・10/20・10/26・11/4 のべ8回

参加人数 223人

3. 子ども用ワークシート

開催月日 展示期間中

参加人数 491人

4. 企画展記念シンポジウム「異形土器と注口土器からみた縄文後期社会の変容」

共 催 科学研究費学術変革領域研究(A)
「日本列島域における先史人類の統合生物考古学的研究—令和の考古学改新—」
基調報告 中村 耕作氏(国立歴史民俗博物館)
パネリスト 吉岡 卓真氏(さいたま市教育委員会)
福永 将大氏(九州大学総合研究博物館)
渡辺 幸奈氏(京都大学大学院)
西村 広経(当館学芸員)
総括コメント 秋田かな子氏(東海大学)
日 時 令和6年10月5日(土)10時00分～16時00分
会 場 森のホール 21 レセプションホール
参加人数 152 人

5. ワークショップ「ミニチュアてんらんかいを作ろう！」

概 要 3D プリンタで出力したミニチュアを使って資料の魅力を引き出す並べ方を考え、
写真撮影する。資料の形態に親しむとともに、「展示方法」という新しい鑑賞視点
を獲得する契機となることが期待される。
日 時 10月27日(日) 10時00分～16時00分
会 場 プレイルーム
参加人数 24人

6. ワークショップ「ぬってみよう！異形土器～土器って何色だったの？～」

概 要 3D プリンタで出力した資料のミニチュアを絵の具で自由に着色する。赤彩され
た資料の意味を考える契機となることが期待される。
日 時 9月23日(月・祝)、10月19日(土) 10時00分～16時00分
会 場 実習室
参加人数 56 人

7. ワークショップ「ゲームで学ぶ土器の古さ／新しさ」

概 要 カップに埋めて隠された3つのアイテムを発掘して、出土層位をもとに古さを推
理するゲーム。
日 時 9月15日(日)、9月28日(土) 10時00分～16時00分
会 場 プレイルーム
参加人数 35 人

8. MR 体験「つまめるミュージアム」

概 要 MR 技術を利用して、展示資料の3D モデルを自分の手でさわっているかよう
に動かしながら観察する体験

共催 一般社団法人 路上博物館
日時 11月2日(土)、11月3日(日)、11月4日(月)
会場 企画展示室ロビー
参加人数 100人

(4) 博学連携展示「松戸探検 100 年前からのくらしのうつりかわり」

◆展示意図

本展示会は、小学校3年生の社会科カリキュラムに対応したもので100年ぐらい前の農家のくらしを展示し、さらに100年ぐらい前から撮影された松戸の写真によって、まちの姿の変化を表している。今のくらしへ、どのようにうつりかわってきたかを子どもたちに伝えている。

◆主 催 松戸市立博物館(企画担当 青木俊也、米村創)

◆会 期 1月15日(水)～5月18日(日)開催中

◆観覧者数 開催中

◆観 覧 料 無料

◆関連企画

1.土曜ワークショップ(博物館友の会共催)

昔のくらしにまつわる様々な体験ができるワークショップを、会期中の毎週土曜日に開催した。

・「天秤棒で桶をかついでみよう」(会場:企画展示室ロビー)

対 象 者 一般(子どもから大人まで)

開催月日 ①1月18日、②2月1日、③2月15日、④3月1日、⑤3月15日、⑥3月29日、⑦4月12日、⑧5月3日、⑨5月17日

13時00分～15時30分の間で随時

講 師 博物館友の会有志

内 容 水道がなかった頃、水汲みに使われていた桶を天秤棒で実際に担ぐ体験。屋内で実施のため、水は使用せずおもりで代用。担ぎ方を教わり、上手に運ぶコツを学んだ。

参加人数 人(①25人 ②26人 ③人 ④人 ⑤人 ⑥人 ⑦人 ⑧人 ⑨人)

・「風呂敷をつかってみよう」(会場:企画展示室)

対 象 者 一般(子どもから大人まで)

開催月日 ①2月8日、②3月8日、③4月5日、④4月26日

13時00分～15時30分の間で随時

講 師 博物館友の会有志

内 容 風呂敷でさまざまな形の物を包み、昔のくらしの工夫を体験した。

参加人数 人(①20人 ②人 ③人 ④人)



・「機織りをしてみよう」(会場:企画展示室ロビー)

対 象 者 一般(子どもから大人まで)
開催月日 ①1月25日、②2月22日、③3月22日、④4月19日、⑤5月10日
13時00分～15時30分の間で随時
講 師 博物館友の会サークル・はたくさの会有志
内 容 古い布を裂いて作った緯糸(よこいと)を使って、機織り機で布を織る体験。
参加人数 人(①26人 ②人 ③人 ④人 ⑤人)

2.「紙芝居と昔のあそびを楽しむ日」(博物館友の会共催)(会場:企画展示室ロビー)

対 象 者 一般(子どもから大人まで)
開催月日 3月30日(日)
紙芝居 ①13時00分～、②14時30分～
昔のあそび ③13時00分～15時30分の間の紙芝居をしていない時
講 師 紙芝居／紙芝居屋てるさん(峯岸照恭氏)、昔のあそび／博物館友の会有志
内 容 紙芝居・けん玉・こまなど、昔の子どもたちの世界を再現し、体験した。
参加人数 人(①人 ②人 ③人)

3.小学生学芸員 米づくり展示解説会(会場:企画展示室)

開催日時 1月26日(日) ①14時00分～、②15時00分～
内 容 一年間を通して、田んぼで米づくりを体験した小学生6名が、その成果をパネルに
まとめ、来場者に向けて解説会を行なった。
参加人数 76人(①40人 ②36人)

2 学習支援

(1) 講演会

■館長講演会

演 題 江戸時代の小金牧と周辺村々
対 象 者 一般
開催月日 令和6年8月24日(土)、8月25日(日)13時00分～15時00分
※応募者多数のため、落選者向けに追加講演(25日)を開催した。
講 師 渡辺尚志(当館館長)
会 場 当館講堂
参加人数 110人

■歴史を語る

第1回 演 題 常盤平団地への計画と生活史からのアプローチ
対 象 者 一般
開催月日 令和6年9月15日(日)13時00分～16時30分
講 師 志岐祐一氏(日東設計事務所)、青木俊也(当館学芸員)
会 場 当館講堂
参加人数 27人

第2回 演 題 江戸周辺の鷹場 御三家を中心として
対 象 者 一般
開催月日 令和6年11月3日(日・祝)13時00分～15時00分
講 師 山崎久登氏(東京都立砂川高等学校主任教諭)
会 場 当館講堂
参加人数 50人

第3回 演 題 縄文時代以降の松戸とその周辺の人と自然の関わりの歴史
対 象 者 一般
開催月日 令和7年2月15日(土)13時00分～15時00分
講 師 百原新氏(千葉大学大学院園芸学研究科教授)
会 場 当館講堂
参加人数 57人

■学芸員講演会(会場:当館講堂、13時00分～15時00分)

各学芸員が専門分野に関して講演した。

開催年月	タイトル	講師	参加人数 (うち友の会会員)
令和6年5月19日(日)	民族誌からみた竪穴建物	藤原 哲	47人(15人)
7月21日(日)	古文書からさぐる大谷口村―石造物をさらに考える―	富澤 達三	69人(24人)
10月26日(土)	縄文時代後期の異形土器	西村 広経	68人(21人)
11月30日(土)	小金牧開墾事業と開墾会社―五香六実を拓いた人々―	林 幸太郎	64人(22人)
令和7年2月8日(土)	松戸の「中世を増やす」試み―風早・秋山・高柳から小金領へ―	中山 文人	

(2) 講座

■古文書をよむ(近世入門編)(会場:当館実習室)

開催月日 令和7年1月19日(日)～3月16日(日)までの隔週日曜日(全5回)

講師 富澤達三(当館学芸員)

内 容 市内旧家の古文書をテキストに、当時の時代背景なども説明しながら、くずし字の解読をおこなった。

応募人数 30人

参加人数 延べ 人(①23人② 人③ 人④ 人⑤ 人)

■古文書をよむ(近世中級編Ⅰ)(会場:当館実習室)

開催月日 令和6年9月14日(土)～11月10日(日)まで(全5回)

講師 和泉 清司氏(高崎経済大学名誉教授)

内 容 本年度も千駄堀の名主・土屋亮平家文書の御用留を解読した。テキストは「嘉永七年 御触書御用留」(TRO2423)で16-24頁まで読んだ。

応募人数 35人

参加人数 延べ 113人(①27人②22人③22人④20人⑤22人)

■古文書をよむ(近世中級編Ⅱ)(会場:当館実習室)

開催月日 令和7年1月18日(土)～3月15日(土)までの隔週土曜日(全5回)

講師 出口 宏幸氏(元江東区文化財主任専門員)

内 容

応募人数 31人

参加人数 延べ 人(①27人② 人③ 人④ 人⑤ 人)

■吾妻鏡を読む(会場:男女共同参画センター「ゆうまつど」)

開催月日 令和6年8月30日(金)～10月25日(金)までの隔週金曜日(全5回)
 講師 中山 文人(当館学芸員)
 内容 寿永3年2月25日条から同年3月9日条の途中までを解説・解説した。
 応募人数 42人
 参加人数 延べ 143人(①31人②28人③29人④29人⑤26人)

■古代の住まいを考える(会場:当館実習室)

開催月日 令和7年1月12日(日)、1月25日(土)、2月9日(日)
 講師 藤原 哲(当館学芸員)
 内容 古代の住まいの変遷や、住まいに関連する諸問題について解説した。
 応募人数 28人
 参加人数 延べ59人(①25人②16人③18人)

■パートナー講座

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	参加人数
令和6年 6月12日(水)	松戸の江戸時代の村のようす	松戸史談会	富澤達三 (当館学芸員)	27人
6月20日(木)	“史料”からみる松戸市の幕末維新	実践話し方研究会	林幸太郎 (当館学芸員)	12人
7月20日(土)	大谷口をあるく	松戸三田会	富澤達三 (当館学芸員)	44人
9月21日(土)	絵図と写真から読み解く明治・大正・昭和の松戸	フィオリ自治会	林幸太郎 (当館学芸員)	7人
10月11日(金)	戦国時代の小金と寺院	小金地区高齢者支援連絡会	中山文人 (当館学芸員)	29人
10月24日(木)	うつりかわる“まつど”―戦中・戦後のくらし―	実践話し方研究会	林幸太郎 (当館学芸員)	15人

■その他講師派遣等

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	場所	参加人数
令和6年 6月8日(土)	『「もの」と「こと」:痕跡から 行為・認識へ』	総合研究大学	藤原哲 (当館学芸員)	国立歴史民俗博物館	50人
8月8日	「中堅教諭等資質向上研修」	寒風台小学校	青木俊也 (当館学芸員)	松戸市立博物館	2人
8月21日	「森の住宅都市 常盤平団地の生活史 1960-2022」	常盤平第一小学校	青木俊也 (当館学芸員)	松戸市立博物館	9人

10月16日	博物館資料のデジタル・アーカイブ化に関する勉強会	和歌山県教育委員会	西村広経 (当館学芸員)	和歌山県立近代美術館	42人
12月6日	歴史系地域博物館の学芸員の活動	明治大学	中山文人 (当館学芸員)	明治大学	43人
令和7年 1月21日(火)	東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係者合同研修会「明治・大正の松戸と東葛飾郡」	社会教育課	林 幸太郎 (当館学芸員)	松戸市立博物館	26人

(3) 体験学習

■こども体験教室「親も楽しむ 米づくりと展示づくりー小学生学芸員になろうー」(友の会共催)

(会場:21世紀の森と広場の水田・博物館実習室等)

対 象 者 小学4年生～6年生と保護者の方

開催月日 ① 令和6年4月27日(土) 田おこし・代かき
 ② 5月11日(土) 田植え
 ③ 6月29日(土) 田の草取り
 ④ 7月27日(土) 案山子づくり
 ⑤ 9月21日(土) 稲刈り
 ⑥ 10月5日(土) 脱穀
 ⑦ 11月16日(土) かまどでご飯を炊く・展示づくり①
 ⑧ 11月30日(土) 展示づくり②
 ⑨ 12月21日(土) 展示づくり③
 ⑩ 令和7年1月26日(日) 小学生学芸員展示解説会

内 容 21世紀の森と広場内の水田で、田おこし、代かき、田植え、田の草取り、案山子づくり、稲刈り、脱穀までの一連の米づくりにおける作業を体験し、竈でご飯を炊き試食した。さらに、その作業を示したパネルをつくり、博学連携展示「松戸探検 100 年前からのくらしのうつりかき」のなかで小学生学芸員コーナーとして展示し、展示解説会を行った。なお、この体験教室には博物館友の会の有志の協力を受けた。

講 師 青木俊也・藤原哲・米村創(当館学芸員)、平松澄明(当館学習支援専門員)、友の会会員

応募人数 56 人(小学生28人、保護者28人)(※定員10組)

参加人数 延べ172人
 (①26人②25人③23人④17人⑤18人⑥16人⑦20人⑧8人⑨7人⑩12人)

■こども体験教室「親も楽しむ 土鈴づくり」(会場:実習室)

開催日	時間	対象者	講師	応募数	参加人数
令和6年 8月3日(土)	①10:00～11:00	小学生・保護者	藤原 哲 (当館学芸員)	41人	28 人
	②13:30～14:30	※児童だけの参加も可			
内容:粘土で縄文時代の鈴(土鈴)を作る。					

■こども体験教室「親も楽しむ 勾玉づくり」(会場:実習室)

開催日	時間	対象者	講師	応募数	参加人数
令和6年 8月4日(日)	①10:00～11:00	小学生・保護者	藤原 哲 (当館学芸員)	56 人	28 人
	②13:30～14:30	※児童だけの参加も可			
内容:滑石を研磨して勾玉を作る。					

■こども体験教室「なりきり縄文人体験！ 竪穴住居に泊まろう！」

(運営を NPO 法人 松戸子育てさぽーとハーモニーに委託)

対 象 者 小学5~6年生

<事前説明会>

日 程 令和6年4月27日 10:00~12:00

参加人数 22組(49人)

<宿泊体験>

日 程 令和6年6月8日(土)13:00~6月9日(日)9:00

令和6年10月12日(土)13:00~10月13日(日)9:00

応募人数 23人

参加人数 12人(各回6人)

内 容 縄文時代文化の一端として体験してもらうため、復元竪穴住居に宿泊した。夕飯時には旧石器時代に行われていたと想定される石蒸し調理の体験をしたほか、博物館見学时、ドングリ加工体験等のプログラムを実施した。

■体験教室「裂き織りをしてみませんか」(友の会共催)

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和7年 2月6日(水) 2月7日(木)	① 9:40-10:20	一般	はたくさの会会員	20人	20人
	②10:40-11:20				
	③11:40-12:20				
	④13:40-14:20				
	⑤14:40-15:20				
内容:古い布を裂いて、新しい布に再生する。					

(4) ミュージアムシアター・プレイルーム

■ミュージアムシアター

公共上映の権利を有する映像ソフトを、講堂において毎日・月替わりで定時上映した。ただし、講演会等の開催には、上映を中止した。

上映時間 11:00～、13:15～、15:15～

土日祝日の午後1時15分上映分は「キッズシアター」として、子ども向けプログラムを上映した。

ミュージアムシアター

上映月	タイトル	上映日数	観覧者数	一日平均
令和6年4月	世界の祭・儀礼2 はじまりの儀礼	24日	76人	3人
5月	現代日本の形成過程49 日本の技術革新	26日	88人	3人
6月	千年の森づくり1 森をつくる	19日	61人	3人
7月	ぼくたちは見た ―ガザ・サムニ家の子どもたち―	26日	44人	1人
8月	ヒロシマへの誓い ―サーロー節子とともに―	26日	60人	2人
9月	南島残照 女たちの針突<ハジチ>	25日	30人	1人
10月	熱帯林を破壊するダークマネー ボルネオ事件	27日	78人	2人
11月	現代日本の形成過程50 日米経済摩擦	24日	34人	1人
12月	千年の森づくり2 森と生きる	22日	48人	2人
令和7年1月	現代日本の形成過程51 経営技術	22日	32人	1人
2月	壊れゆく森から、持続する森へ			
3月	司馬遼太郎と城を歩く1 大阪城・小田原城・備中松山城・熊本城			

キッズシアター

上映月	タイトル	上映日数	観覧者数	一日平均
令和6年4月	三つの斧、猿の婿どの、天狗と盗人	9日	50人	3人
5月	屁ひり嫁、猫と茶釜の蓋、ちゃくりかきふ	9日	43人	3人
6月	ねずみの婿取り、小石の手紙、だんまりくらべ	8日	26人	3人
7月	花さか爺さん、一寸法師、おむすびころりん	8日	25人	3人
8月	夢を買った男、ねずみ経、牛の嫁入り	8日	27人	3人
9月	八つ化け頭巾、ほれ薬、猿地蔵	10日	33人	3人
10月	桃太郎、はちかつぎ姫、十二支のはなし	8日	24人	3人
11月	いくさはやめた、大蛇と狩人、尻尾の釣り	7日	16人	2人
12月	天福地福、菜飯八兵衛、茗荷女房	6日	9人	1人
令和7年1月	因幡の白兎、嫁の坊主頭、三枚のお札	8日	19人	2人
2月	炭焼き長者、金なる木、お坊さんの手ぬぐい			
3月	三人の兄弟、狼の眉毛、どっこいしょ			

■プレイルーム

年齢問わず、いつでも来館者が楽しみながら学べる場として、無料で開放している。

常設体験プログラムの他にも、企画展示やイベント等に合わせて、縄文土器の文様施文体験や、はにわギターづくりを実施した。今年度からはマンスリーイベントも開始した。

【令和6年度常設体験プログラム】

- ・プレイルームでぬりえ！（こむそう[虚無僧]・たてあなじゅうきょ[竪穴住居]等、12種類）
- ・パズルをたのしもう！（おししがり[御鹿狩]の絵、じょうちゃん・もんちゃんの絵）
- ・アンギン編み体験
- ・アンギン衣装体験
- ・土器パズル
- ・糸車により糸つむぎ（プレイルームスタッフによる実演）

令和6年度利用者総数 人

プレイルームイベント参加者数 人(令和6年4月1日～令和7年1月31日)

開催月	イベント名	回数	参加人数
4月	こいのぼりづくり	1回	71人
5月	パズルの日	2回	153人
6月	浮世絵スタンプに挑戦	2回	358人
7月	自由研究対応講座	6回	206人
8月	アンギンコースターづくり		
11月	なりきり縄文人体験	2回	91人
12月	しめかざりづくり	2回	91人
1月	お正月の遊び	3回	469人
2月	おひなさまづくり	2回	
3月	うぐいす笛づくり	2回	

(5) 館内公開

対 象 者 一般

開催月日 ①令和6年8月24日(土)10:00～11:00

②令和6年8月25日(日)10:00～11:00

※応募者多数のため、落選者向けに追加公開(24日)を開催した。

内 容 博物館の多様な活動への理解を促進するため、通常非公開のバックヤード(車庫、荷解梱包室、燻蒸室、学芸員室、スタジオ、機械室、収蔵庫)を紹介・解説するもの。

講 師 林幸太郎・中山文人(当館学芸員)

応募人数 84人

参加人数 合計31人(①13人②18人)

(6) ガイドツアー(常設展示解説)

「人類の登場」から「都市へのあゆみ」まで、2名の展示解説員によるリレー方式の解説会を毎日随時受け付けを行った。(解説時間約30分)。なお、団体観覧者においては適宜開催した。

参加者 人

(7) 情報提供

■閲覧コーナー

購入図書及び関係諸機関との交換図書の閲覧サービスを行っている。蔵書の一部は開架で提供している。

- ・ 蔵書数(令和7年3月31日現在)

開架図書冊数

閉架図書冊数

合計

- ・ 閲覧コーナーの利用者数

- ・ 閉架図書の利用状況

利用人数

利用冊数

- ・ 視聴覚資料数

ビデオテープ

CD

DVD

■刊行物

令和6年度の刊行物は次の通りです。

- ・ 松戸市立博物館年報 第31号

A4版 77頁 500部 令和6年9月13日

- ・ 松戸市立博物館紀要 第31号

A4版 77頁 500部 令和6年9月13日

■SNS による情報発信

令和6年4月29日に当館公式 Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram を開設し、最新情報を発信している。

■ICT の活用

- ・ 松戸市立博物館団体申込受付電子受付開始
- ・ 3D モデルを活用した展示(企画展)

■まつどデジタルミュージアム

資料登録数

	歴史	民俗	考古
令和6年度	15,774	4,163	8,256
令和5年度	15,774	4,163	6,028

4 連携事業

(1) 博学連携プログラム

①受け入れ

■博物館実習

令和6年度博物館実習生

班	所 属
第1班	十文字学園女子大学 文芸文化学科 4年
	聖徳大学 文学部 文学科歴史文化コース 4年
	東洋大学 文学研究科史学専攻修士課程 1年
	奈良大学 通信教育部文学部文化財歴史学科 編入
	川村学園女子大学 文学部史学科 4年
第2班	日本大学 芸術学部 演劇学科 4年
	淑徳大学 人文学部 歴史学科 4年
	立正大学 文学部 史学科 4年
	聖心女子大学 現代教養学部 人間関係学科 4年
	日本女子大学 人間社会学部 現代社会学科 4年

(1)合同実習

月 日	午 前	午 後
7月28日(日)	松戸博物館の概要・理念・場所解説	常設展・企画展、館内バックヤード見学

(2)個別実習

第1班 8月1日～8月7日

月 日	午 前	午 後
8月1日(木)	近世・近代文書資料の整理	同左
8月2日(金)	こども体験教室「土鈴をつくろう」準備	同左
8月3日(土)	こども体験教室「土鈴をつくろう」補助	同左
8月4日(日)	葛飾区郷土と天文の博物館見学	流山市立博物館見学
8月6日(火)	企画展示、又はリニューアル展示の計画	同左
8月7日(水)	展示計画の研究発表	実習まとめ・レポート執筆など

第2班 8月1日～8月7日

月 日	午 前	午 後
8月1日(木)	近世・近代文書資料の整理	同左
8月2日(金)	こども体験教室「勾玉をつくろう」準備	同左
8月3日(土)	こども体験教室「勾玉をつくろう」補助	同左
8月4日(日)	葛飾区郷土と天文の博物館見学	流山市立博物館見学
8月6日(火)	企画展示、又はリニューアル展示の計画	同左
8月7日(水)	展示計画の研究発表	実習まとめ・レポート執筆など

■MCR 学級生による企画展の見学会

連携対象 MCR(Matsudo Child-raising Class)※家庭教育学級の一環として市内在住の小中学生保護者のための学びの場)

開催月日 令和6年10月31日(木)10:00～12:00

内 容 担当学芸員が企画展「異形土器 縄文時代の不思議なうつわ」の概要を講堂で解説後、見学を実施した。

参加人数 27人

■千葉県立小金高等学校インターンシップ

連携対象 千葉県立小金高等学校に所属する生徒

開催月日 ①令和6年8月14日(水)、8月15日(木)
②令和6年8月27日(火)、8月28日(水)
③令和6年10月3日(水)、10月4日(木)

内 容 職業体験を通して職業観や勤労観を育み、自己の将来について考え、主体的に進路選択する能力を育成するとともに、博物館の役割や学芸員の職業に対する理解を深める機会とする。

参加人数 合計 7 人 ①2人②4人③1人

■千葉県立松戸南高等学校インターンシップ

連携対象 千葉県立松戸南高等学校に所属する生徒

開催月日 令和6年11月14日(木)

内 容 千葉県の高等学校と地域の産業界が相互の連帯・協力のもと、高校インターンシップを実施し、生徒が実際の知識・技能に触れることにより、学習意欲を喚起するとともに、主体的な職業選択能力や高い職業意識を育成することを目的とする。

参加人数 2人

②派遣

■出前講座

市内の小学校・中学校を対象とし、当該校からの要請に応え、博物館学芸員及び学習支援専門員が、通常の授業の中でゲストティーチャーとして指導・支援を行った。

・専修大学松戸中学校

対 象 者 2年生

開催日時 令和6年10月26日(土)

内 容 松戸市域が農村から住宅地へと変化するきっかけをつくった常盤平団地の造成とその後の60年以上に及ぶ居住者の生活の営みを解説した。

講 師 青木 俊也

③事業

■博物館でアート

対 象 者 小学4年生以上

開催日時 ①令和6年7月21日(日)

②令和6年8月25日(日)

③令和6年9月29日(日)

④令和6年10月20日(日)

内 容 博物館の環境を活用して造形活動を行った。令和6年度は色鉛筆を使った松戸の名所の塗り絵とオリジナルの絵馬、クラフトバンド(紙製バンド)を使った縄文時代の編物(ポシェット)を体験した。

講 師 鵜沼 豊・平松 澄明(学習支援専門員)

参加人数 合計36人(①6人 ②14人 ③10人 ④6人)

■第9回博物館アワード

趣 旨 博学連携の一環として、博物館機能並びに環境を生かしたコンクールを開催することにより、児童生徒の博物館に対する理解を深めるとともに、博物館の積極的な活用を推進する機会とする。

募集概要 (1)募集内容並びに募集対象者

①歴史に関する自由研究部門

小学生3・4年の部、小学生5・6年の部、中学生の部

②歴史に関するイラスト部門

小学生3・4年の部、小学生5・6年の部、中学生の部

(2)募集期間

令和6年9月3日(火曜日)～9月18日(水曜日)

(3)表彰

①自由研究部門各部の最優秀作品に対して市長賞、教育長賞、博物館長賞、審査委員長賞、各1点、さらに各部9点優秀賞、その他32点佳作

②イラスト部門各部の最優秀賞作品に対して、市長賞、教育長賞、博物館長賞、審査委員長賞、各1点、さらに各部9点に優秀賞、その他57点佳作

応募点数

	小学生3・4年の部	小学生5・6年の部	中学生の部	合計
自由研究部門	38	62	67	167
イラスト部門	48	61	244	353

応募校数 自由研究部門 31校
イラスト部門 42校

■第9回博物館アワード作品展

展示意図 第9回博物館アワード(歴史自由研究部門、歴史イラスト部門)に応募した小中学生の入賞、入選作品を展示した。

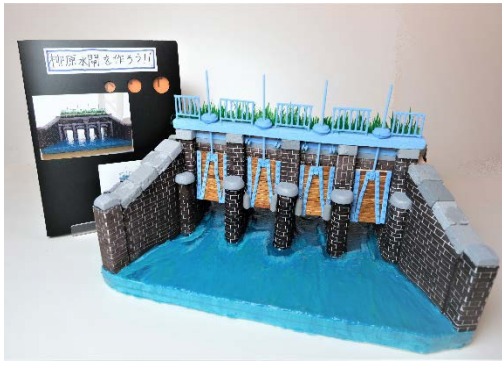
主 催 松戸市立博物館

会 期 令和6年11月23日(土・祝)～12月8日(日)

会 場 松戸市立博物館 企画展示室

観 覧 料 無料

作 品 数 自由研究部門 45点
イラスト部門 280点



自由研究部門 市長賞
「柳原水閘を作ろう!!」
(小金北小学校 4年)



自由研究部門 教育長賞
「おじいちゃんの戦争体験」
(松ヶ丘小学校 4年)



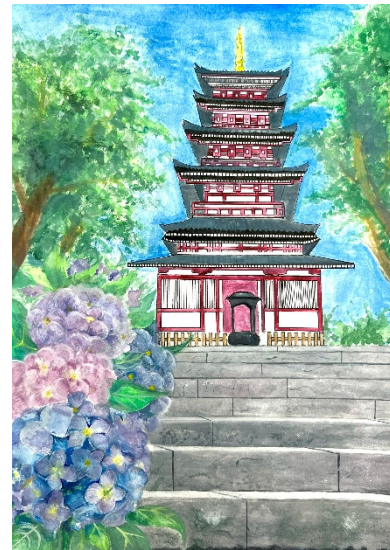
自由研究部門 博物館長賞
「松戸の標識柱 説明完全コンプリート集」
(河原塚中学校 2年)



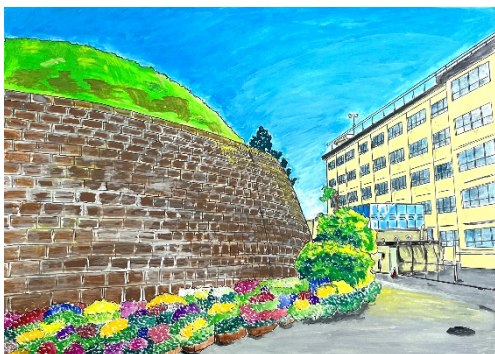
自由研究部門 審査委員長賞
「79年目の夏～戦争の記憶を辿って～」
(西武台千葉中学校 3年)



イラスト部門 市長賞
「彌榮松戸」
(河原塚中学校 3年)



イラスト部門 教育長賞
「待望の6月」
(馬橋北小学校 6年)



イラスト部門 博物館長賞
「河原塚中学校と古墳」
(河原塚中学校 1年)



イラスト部門 審査委員長賞
「いいことやった空海さん」
(聖徳大学付属小学校 3年)

■森のこども館はくぶつかんチーム

主 催	松戸市立博物館・森のこども館
対 象 者	市内在住の小学生
趣 旨	体験型を通年の連続講座として実施し知識・経験を蓄積していくことで、歴史・文化に関する関心と理解を養う。
日 時	①令和6年6月16日(日) 10:30～11:30 ②令和6年8月18日(日) 10:30～11:30 ③令和6年10月20日(日) 10:30～11:30 ④令和6年12月22日(日) 10:30～11:30 ⑤令和7年2月16日(日) 10:30～11:30
場 所	森の工芸館、松戸市立博物館実習室ほか
内 容	①縄文原体の復元製作及び文様の差異の検証 ②石蒸し料理 ③企画展見学 ④種実の採集効率に関する実験・検証
刊 行 物	連続講座の内容を紹介したパンフレットを刊行。市内各所で配布。
参加人数	合計 人(①人 ②人 ③11人 ④7人 ⑤)
講 師	西村広経(当館学芸員)

(2) その他

■野菊野こども館ワークショップ「なぞときじょうもんどき」

連携対象	野菊野こども館
対 象 者	小学生
開催月日	令和6年7月31日(水) 13:30～15:00
内 容	縄文土器破片の観察、施文技術の解説、土版製作をした。
場 所	野菊野こども館
講 師	西村広経(当館学芸員)
参加人数	15人

■3館連携事業 まつど文化の MORI 土器クイズ「これはどき？こんなどき！」

概 要	博物館・21世紀の森と広場・森のホール21の各所に3D プリンタで出力した展示資料のレプリカを設置。来場者は設置場所をまわり、ラリーシートに掲載された土器の中から設置されているものと同じ土器の番号を選ぶ。回答済みのラリーシートを博物館プレイルームに持参すると景品がもらえる。
開催期間	令和6年9月14日(土)～11月4日(月・休)
場 所	松戸市立博物館・21世紀の森と広場・森のホール21
参加人数	696人

5 資料の収集と利用

(1) 資料の収集

一次資料収集

受贈

・高橋 清様	「高橋市太郎関係資料」	136点
・新田 隆文様	「NHK のど自慢(松戸市)関係資料」	6点
・中道 和也様	「小金下町会活動およびコロナウイルス対応等記録写真」	1点
・土屋 和久様	「土屋和久家文書」	1点
・伊原 清良様	「法被(屋号「栄吉船」)」	1点



「法被」

寄託

・上本郷獅子講中様	「上本郷獅子講中史料」	528点
	「上本郷獅子舞 獅子頭羽根飾」	3点
・石井 正人様	「石井包人家文書」	1227点
・塚田 輝夫様	「旧秋山村渡辺家文書(近世地主関係)」	42点
・高城 安夫様	「北条家直印判状」	1点
・松戸 雅男様	「錦果園関係資料」	5点



「東京府買出連合会(鮮魚)徽章」
「東京北部連合会(桜に魚)徽章」



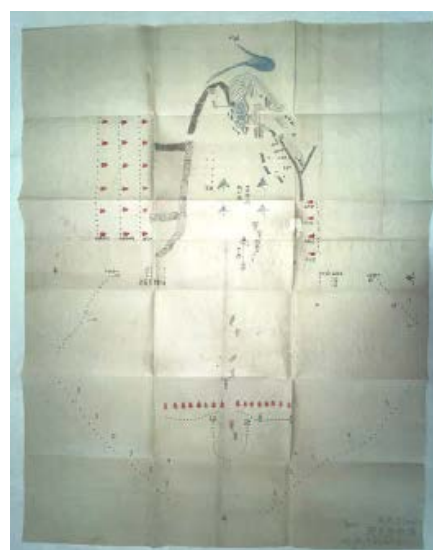
「実相当流修行主本目録」

購入

・作者不明	「小金野御鹿狩略図」	1点
・作者不明	「小金原御鹿狩御陣所略図」	1点



「小金原御鹿狩御陣所略図」



「小金野御鹿狩略図」

二次資料収集

受贈図書 冊(団体冊、個人冊)

購入図書

交換図書

図書交換機関等

購入逐次刊行物

受贈及び交換逐次刊行物

(2) 博物館資料の貸し出し (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

No.	貸出期間	借用者	利用形態	目的	貸出資料・点数
1	令和6年7月31日 ～令和6年10月11日	八潮市立資料館	資料貸出	八潮市立資料館 第51回企画展「あの世 ー葬送儀礼と死生観ー」に展示するため	天蓋、新盆の白提灯 計2点
2	令和6年8月29日 ～令和7年3月31日	千葉市立加曽利貝塚 博物館	資料貸出	令和6年度企画展「加曽利貝塚 E 地点・B 地点発掘100周年記念「あれも E これも Eー加曽利 E 式土器(総括編)」にて展示す るため。	中峠遺跡、子と清水遺跡遺物 計6点
3	令和6年12月25日 ～令和7年3月31日	千葉市埋蔵文化財調 査センター	資料貸出	特別展「貝と人」にて展示するため。	中峠遺跡遺物 1点

(3) 博物館資料の特別利用

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
1	令和6年4月19日	松戸市立博物館友の会	写真複写	松戸市立博物館友の会古文書部会テキス ト作成のため	二ツ木湯浅家文書-5
2	令和6年5月10日	東京新聞	写真利用	二十世紀梨の里帰りの記事、関連写真 として掲載	松戸覚之助氏の写真
3	令和6年5月20日	個人	写真利用	調査	「下谷・谷津・台の位置関係」 の図、「江戸時代の村」の図
4	令和6年6月4日	松戸市	写真利用	機関紙「RIVERFRONT」に寄稿する際に 写真を掲載するため	かわら版 御立場、松戸宿図 絵
5	令和7年3月28日	松伏町教育委員会	写真利用	松伏町史編事業に伴う刊行物『松伏町史 通史編』及び『松伏町史 通史編 ダイジェ スト版』(仮称)に掲載するため	松戸市文化財調査報告書第1 1集『子と清水貝塚遺物図版 編2』図版193の876-1写真
6	令和6年6月14日	株式会社黄山美術社	調査	調査	ガンダーラ関連作品 39点
7	令和6年6月25日	個人	撮影・調査	調査	子と清水遺跡遺物7点、中峠 遺跡遺物1点

8	令和6年7月9日	千葉市立加曽利貝塚博物館	撮影・調査	令和6年度企画展示に係る借用資料の事前調査のため	中峠遺跡遺物2点、子和清水遺跡遺物4点、根木内遺跡遺物1点
9	令和6年7月11日	有限会社文明舎	写真利用	トヨタカローラ千葉が発行する情報誌『C.C.Road』に掲載するため	常盤平団地の誕生
10	令和6年7月31日	八潮市教育委員会	写真利用	第51回企画展「あの世―葬送儀礼と死生観―」のパンフレットへの掲載のため	天蓋、新盆の白提灯
11	令和6年9月2日	NHK プロジェクトセンター	写真利用	NHK午後LIVEニュースーン(9月2日放送分)中継コーナーで使用	二十世紀梨の原木
12	令和6年9月3日	戎光祥出版株式会社	写真利用	月刊『歴史研究』725号に掲載のため	小金城金杉口の畝状空堀1点、根木内城の障子堀3点
13	令和6年9月21日	松戸市立小金北小学校	映像使用	教育・研究の資料とするため	三匹獅子舞 概要編
14	令和6年10月8日	千葉市立加曽利貝塚博物館	写真利用	令和6年度企画展示リーフレットに掲載するため	中峠遺跡遺物3点、子和清水遺跡遺物2点
15	令和6年10月26日	君津市立久留里城址資料館	写真利用	企画展「関東無双ノ大将 里見義堯―久留里城を拠点とした戦国の雄―」においてパネル展示および図録に掲載するため	北条氏康書状
16	令和6年11月2日	株式会社テックビジョン	写真利用	ケーブルネット296番組「女子旅ちば銘酒探訪」第32話 松戸市にある合同酒精の工場見学の回、冒頭の松戸市紹介で使用	二十世紀梨の展示の写真4点
17	令和6年11月20日	個人	写真利用	調査	イモガイ製垂飾
18	令和6年11月21日	有限会社ちばマガジン	写真利用	月間ぐるっと千葉12月号への掲載で使用	常盤平団地展示の写真2点
19	令和6年12月20日	千葉大学環境リモートセンシング研究センター	閲覧	古気候学に関する研究につき、資料中の日付や天候、移動の記載等について翻刻し、データ分析に用いる。	大熊義光家文書3点
20	令和7年1月1日	個人	写真利用	邦楽月刊誌『邦楽ジャーナル』連載の「全国邦楽ぶら散歩」39(2025年1月号)の記事のページに掲載	虚無僧展示の写真3点
21	令和7年1月10日	長野県埋蔵文化財センター	調査	飯田市川原遺跡出土資料の研究のため	行人台遺跡遺物19点
22	令和7年1月30日	株式会社 テレビ朝日	写真利用	スーパーJチャンネル「J」の追跡番組内にて資料映像として使用	揚州周延「千代田之御表 小金原御牧狩之図」
23	令和7年2月4日	高崎市教育委員会	調査	令和7年度高崎市観音塚考古資料館企画展に向けた調査研究のため	行人台遺跡遺物6点
24	令和7年3月7日	市川市	写真利用	『市川市史 歴史編Ⅱ―ムラとマチ―(通巻2)』第3章第3節に使用のため	小野遺跡出土遺物2点、坂花遺跡遺物2点

25	令和7年3月8日	株式会社 日企	撮影	日本テレビで放送されているテレビ番組「キントレ」の撮影で使用するため。	「人類の登場」「狩りと採集のムラ」展示資料、竪穴住居
26	令和7年4月1日	株式会社大修館書店	写真利用	高校国語副教材近現代文学編において文学作品の背景を知る為の資料として使用	常盤平団地内部画像

(4) 資料の燻蒸等

[展示室燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする密閉燻蒸を行った。
 期 間:令和6年6月17日(月)～6月24日(月)
 対 象:総合展示室、主題展示室、企画展示室
 委 託 先:関東港業(株)
 使用薬剤:酸化プロピレン(商品名アルプ)

[燻蒸庫燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする燻蒸を2回行った。
 期 間:①令和6年9月18日(水)～9月26日(木)
 ②令和7年2月3日(月)～2月17日(月)
 対 象:①館蔵資料展関連資料
 ②民俗学資料、寄託資料
 委 託 先:関東港業(株)
 使用薬剤:①炭酸ガス(二酸化炭素)
 ②炭酸ガス(二酸化炭素)

[博学連携展示資料燻蒸]

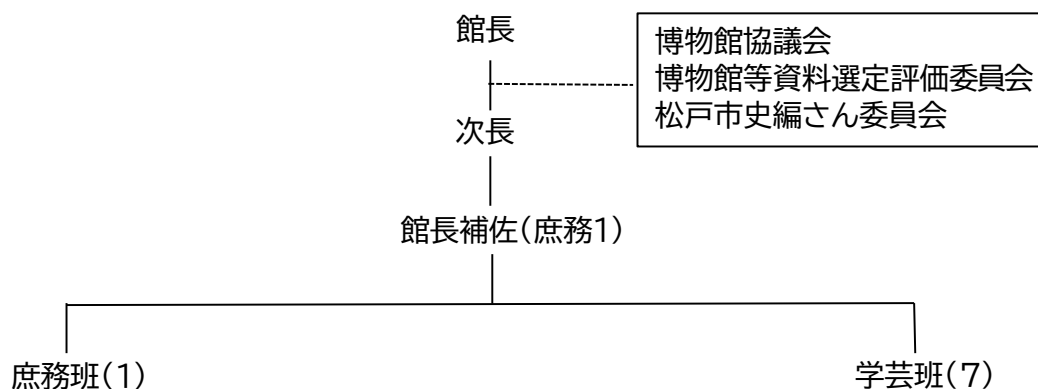
殺虫・殺卵を目的とする燻蒸を行った。
 期 間:令和6年4月1日(月)～4月16日(火)
 対 象:博学連携展示資料
 委 託 先:関東港業(株)
 使用薬剤:炭酸ガス(二酸化炭素)

[野外展示・復元竪穴住居]

殺虫を目的とする駆除作業を行った。
 期 間:令和6年6月20日(木)～6月21日(金)
 対 象:復元竪穴住居3棟
 委 託 先:関東港業(株)
 使用薬剤:フェントリン炭酸製剤(商品名ミクラン S)

Ⅲ 組織と運営

1 組織



2 歳出予算

(単位 千円)

事業 科目	予算額	内訳			
		管理 運営	展示 事業	学習 支援	資料 収集
報酬	200	0	0	0	200
賃金	0	0	0	0	0
報償	1,275	0	675	350	250
旅費	630	0	500	0	130
需用	37,216	28,300	4,510	1,428	2,978
役務	2,779	874	1,404	235	266
委託	116,538	89,771	17,778	747	8,242
使用	5,863	3,164	1,457	612	630
工事	0	0	0	0	0
原材	20	20	0	0	0
備品	5,461	4,000	396	115	950
負担	89	0	0	0	89
計	170,071	126,129	26,720	3,487	13,735

3 事務事業

事務事業名	事務事業の主な内容
博物館管理運営事業	施設の維持管理を目的としており、館利用者が安全で快適な環境で学習できるよう施設を整備する。また、博物館協議会において、適切な事業方針を審議する。
博物館展示事業	総合展示・主題展示・野外展示・映像展示で構成し、市民に郷土と歴史と文化への理解を深めてもらう。また、年4回程度、企画展、資料展、学習資料展を実施する。
博物館学習支援事業	歴史講座・体験講座・講演会等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史文化等にかかわる最新情報を様々な媒体を通して提供する。
博物館歴史資料収集調査事業	松戸を中心とする歴史・文化・自然史等に関する資料の収集・保存及び調査研究を行い市民の共有の資産として後世に伝える。
市史編さん事業	市民に郷土の歴史を知ってもらい、郷土に対する誇りを育てるため、松戸市史編さんを行う。 平成10年度に市長から諮問のあった『松戸市史 上巻』の改訂については、平成26年度に『松戸市史 上巻(改訂版)』の刊行を行ったので、現在は、市長からの諮問案件はない。

4 各種委員会等

(1) 博物館協議会

委員名簿

(令和7年3月31日)

区分	氏名	役職等
1号委員 学校関係者	藤崎 裕二	松戸市立常盤平第三小学校校長
	大西 一樹	松戸市立柿ノ木台小学校教諭
2号委員 社会教育関係者	岡田 啓時	松戸市立博物館友の会相談役
	谷鹿 栄一	千葉県立房総のむら主任上席研究員
3号委員 家庭教育の向上に 資する活動を行 う者	竹内 やよい	松戸市PTA連絡協議会会長
	頓田 絵里子	松戸市子ども会 育成連絡協議会役員
4号委員 学識経験者	佐藤 孝之	東京大学名誉教授(近世史)
	小島 孝夫	成城大学教授(民俗学)
	日高 慎	東京学芸大学教授(考古学)
	百原 新	千葉大学大学院教授(古生態学)

任期2年 令和7年9月30日まで

第1回協議会

令和6年7月27日

会場:博物館実習室

議題:(1)松戸市立博物館展示リニューアル
懇談会・展示リニューアル検討の報
告について
(2)館蔵資料展「古文書からさぐる大
谷口の村」内覧

第2回協議会

令和6年12月8日

会場:松戸市立博物館実習室

議題:(1)松戸市立博物館リニューアル基本
構想・基本計画における外部評価
について
(2)常設展示内覧

第3回協議会

令和7年3月9日

会場:松戸市立博物館実習室

議題:(1)松戸市立博物館リニューアル基本
構想・基本計画の事業評価について
(2)令和6年度事業評価について
(3)博学連携展示「松戸探検 100年前
からのくらしのうつりかわり」内覧

(2) 博物館等資料選定評価委員会

委員名簿

(令和7年3月31日)

氏名	専門	役職等
安蒜 政雄	考古	明治大学名誉教授
岡塚 章子	写真	江戸東京博物館 都市歴史研究室長
久保田 昌希	歴史	駒澤大学名誉教授
佐野 賢治	民俗	神奈川大学名誉教授
小泉 雅弘	歴史	駒澤大学教授

任期2年 令和7年3月31日まで

第1回資料選定評価委員会

令和6年8月20日

会場:戸定が丘歴史公園内 松雲亭

議題:(1)委員長・副委員長の選出について
(2)「津山松平分家資料」の選定評価
について

(3) 博物館等資料選定評価委員会

※「3 事務業務」にて記載のとおり、平成10年度に市長からの諮問のあった事業については、平成26年度で終了したので、現在市長からの諮問はない。

5 博物館利用者数の統計

利用者総計

利用者の内訳は以下の通りである。

常設展示観覧者数(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

月	開館日数	有 料 観 覧 者 数 (人)					無 料 観 覧 者 数 (人)								観覧者数 総計
		個 人		団 体		有料 観覧者 計	学習 活動	身体 障害者	70歳 以上	中学生 以下	視察等	友の会	無料 開放日	無料 観覧者 数	
		一般	高校生 大学生	一般	高校生 大学生										
4	24	808	24	0	0	832	23	71	24	377	35	10	463	1,003	1,835
5	26	876	45	0	0	921	288	45	40	226	27	9	765	1,400	2,321
6	19	595	73	0	0	668	416	71	36	252	16	3	328	1,122	1,790
7	26	768	55	0	0	823	171	79	45	286	12	8	0	601	1,424
8	26	901	51	0	0	952	123	111	37	468	31	10	0	780	1,732
9	25	1,045	36	0	0	1,081	123	113	67	360	70	2	0	735	1,816
10	27	1,165	50	0	0	1,215	355	156	157	317	279	6	0	1,270	2,485
11	25	797	37	20	0	854	38	92	92	244	124	7	877	1,460	2,314
12	22	465	32	24	0	521	6	65	65	174	59	8	0	336	857
1	22														
2	23														
3	25														

企画展等観覧者数

展覧会	開催期間	開館 日数 (日)	有 料 観 覧 者 数 (人)				無 料 観 覧 者 数 (人)								観覧者 総計	
			個 人		団 体		有料 観覧者 計	学習 活動	身体 障害者	70歳 以上	中学生 以下	視察等	友の会	無料 開放日		無料 観覧者 数
			一般	高校生 大学生	一般	高校生 大学生										
館蔵資料展 「たてたてあなあー竪穴建物の世界」	R6.4.27～ R6.6.2	31												4,615	4,615	
館蔵資料展 「古文書からさぐる大谷口の村」	R6.7.13～ R6.8.25	37												3,659	3,659	
企画展「異形土器 縄文時代の不思議 なうつわ」	R6.9.14～ R6.11.4	45	2,727	91		2,818	356	301	273	653	588	0	877	3,048	5,866	
博学連携展示「松戸探検 100年前か らのくらしのうつりかり」	R7.1.15～ R7.5.18															
小計															14,140	
第9回博物館アワード作品展	R6.11.23～ R6.12.8	14												1,194	1,194	
計															15,334	

博物館無料ゾーン利用者

博物館施設名	プレイルーム	映像展示	野外展示	講座・講演会参加者	合計
日数(日)				—	—
利用者総(人)					

博物館利用者総計

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
常設展示観覧者数	19720		
企画展・特別展示等観覧者数	23428		
博物館無料ゾーン利用者	31222		
利用者総計	74370		

博物館利用者総数の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者総数	71,738	78,148	74,481	73,628	81,412	57,676	42,645	65,885	67,215	74,370	
常設展示観覧者数	17,052	17,593	15,942	16,437	20,777	12,666	12,389	18,636	18,058	19,720	
企画展・特別展示等観覧者数	20,431	23,220	19,288	19,985	23,653	14,381	12,353	19,160	18,548	23,428	
うち) 企画展観覧者数	2,641	3,809	2,917	4,153	8,959	5,109	5,109	6,216	2,922	8,489	
その他展示観覧者数	17,790	19,411	16,371	15,832	14,694	9,272	9,682	12,944	15,626	14,939	
講座・講演会等参加者数	3,291	3,052	5,999	6,910	6,554	2,598	399	861	1,886	2,512	

グラフは全てのデータ揃ってから

6 来訪者

令和6年1月13日 J:com
1月21日 (株)日企

